

2020 年度 活動報告書

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト

2021 年 5 月 29 日

I 概観

2020年度の方針は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況も注意深く見極めつつ、日本国内の外国人女性への支援に重点を置きながら既存製品の販売促進を行うという2019年度の方針を継続しました。しかし、年度当初の予想よりも実際の状態は厳しく、販売機会となるイベントは軒並み不開催となり、人の集まる催しや活動を行えませんでした。休業や時短などの影響もあり、卸による売上は一昨年度よりもさらに厳しい結果となりました。

このような状況下でしたが、希望の兆しもほんの少し見えました。オンラインでのコミュニケーションが社会的に広まり、ソーシャルメディアを広報の手段として活用しやすくなり、ネット通販による販売は少しずつ上向きになっています。国内事業では、フィリピン人スタッフの参画により、情報発信の方法や内容を改善でき、伝わりやすくなったのではないかと思います。また相談会の開催や特定ニーズに対応したガイドブック作成など、よりきめ細かなニーズに対応した活動を行い、好評を得ました。

各事業について、以下の活動報告の詳細で成果と課題を説明します。

II 活動の詳細

1 海外事業

(1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

①フェアトレード生産者のエンパワメント

【仕入れ状況】

Lampara house (フィリピン)	新規仕入れなし * 開発中の製品 (オーガナイザーポーチ、マスクケース) 仕入額 (前払金として) : 約 30,000 円
APIKRI (インドネシア)	新規仕入れなし
Baan Tho Fan (タイ)	新規仕入れなし
Shakti Samuha (ネパール)	製品発注数 : ランチョンマット (シルク 20 点、コットン 20 点) * MKS Handicraft 経由で注文
MKS Handicraft (ネパール)	製品発注数 : アクセサリー (ネックレス 30 点、ブレスレット 30 点、ヘアゴム 20 点) 仕入額 : 約 29,000 円 * Shakti Samuha と合わせて

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で販売が振るわず、新たな仕入れを抑制せざるを得なかった。そんな中で、ネパールのMKSハンディクラフトからアクセサリーとさをり織製品を買入れた。さをり織製品は、シャクティ・サムハのものであるが生産サポートをMKSの吾妻佳代子さんに依頼していることからMKSハンディクラフトを経由して仕入れている。



【生産者の状況】

カウンターパートはいずれもパンデミックで多大な影響を受けている。

フィリピンでは都市封鎖により外出規制が敷かれ経済活動も社会活動も厳しく制限された。2020年6月にフィリピンでマスクが足りず高騰しているとの情報を受け、日本の厚生労働省が各世帯に配布した布マスクを日本の支援者から寄贈してもらい、ランパラハウスへ638枚送付した。ランパラハウスでは、この布マスクのガーゼ部分を利用して現地の布を組み合わせる新たな布マスクを作成し、手頃な値段で地域の住民に販売することができた。その後生産活動を再開できる見通しが立ったため、新たな製品を2種注文することにした。2021年6月ごろには市場に出せる見込みである。



現地に届いたマスク

インドネシア・アピクリでも海外からの注文が激減し、観光需要も落ち込んだため販売に影響がでている。手工芸事業の代替として養鶏事業を模索しているとの報告もあった。タイも経済的に厳しい状況が続いており、現地の主たる収入源である玄米の卸価格が下がり、収入が落ち込んでいるということだった。

ネパールも度重なるロックダウンにより市内の移動も制限されシャクティ・サムハの

メンバーたちは工房に行けない状態が断続的に続いていた。就労していたメンバーの多くは解雇されて収入が絶たれ、食料も買えない状況になったためシャクティ・サムハが食料を配布し支えている。

いずれの団体も厳しい状態が続いているが、幸い感染により死亡した関係者の報告は届いていない。コロナ後の状況改善に期待を繋げるために、小さい規模でも生産活動を促せるよう販売に力を入れていく。

②国内販売活動によるフェアトレードの促進

【卸売り】

登録店舗宛てに定期的な販促メールを発信した。販促メールは6回発信。新製品の紹介だけでなく、コロナ禍で影響を受けている登録店舗へ送料無料化などのサービスを行った。また2020年度は新たに株式会社ZAPPA（姫路市）が登録店舗に加わった。

ZAPPAは姫路市での講演に参加されたのをきっかけにAWEPの活動に関心を持っていただき、製品販売で協力をいただけることになった。

閉店によって取引を終了する店舗も徐々に出てきている中で、新たな店舗との関係を始めることができた。厳しい経済情勢の中ではあるが、今後も店舗との協力関係のあり方を丁寧に探っていきたい。

【イベント販売】

2020年度はコロナの影響でイベントがほとんど開催されず、実質的なイベント出店はできなかったが、下記の2回の講演時に会場で販売させていただいたり、講演前後の期間に主催センターで販売を引き受けてくださった。このような状況下で非常にありがたかった。（2019年度イベント出店は8回）

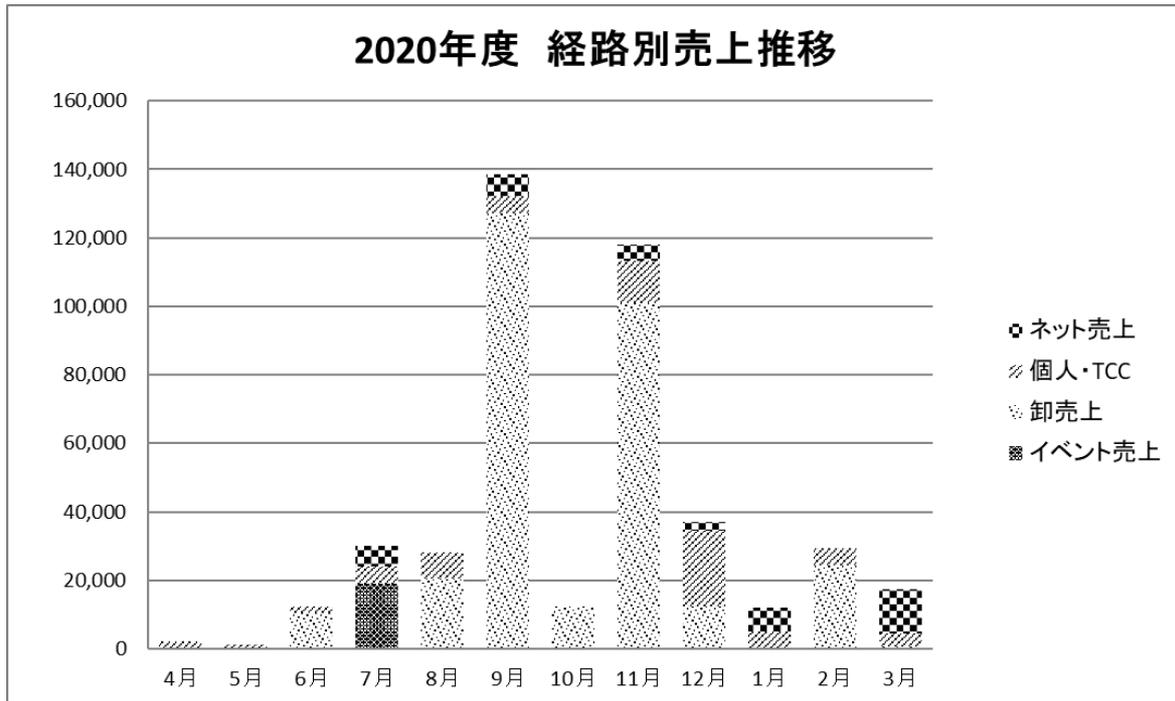
7/7, 14 姫路市男女共同参画推進センター

9/20 川西市男女共同参画センター

*いずれも講演時販売

【経路別の売り上げ（月ごと推移）】

全売上の大半は卸売であった。イベント販売の割合が低下し、逆に少しずつではあるがネットでの売上が少しずつ見えてきた。



【ECによる販売】

2020年度は次の3つのサイトで販売した。

BASE <https://awep.thebase.in/>

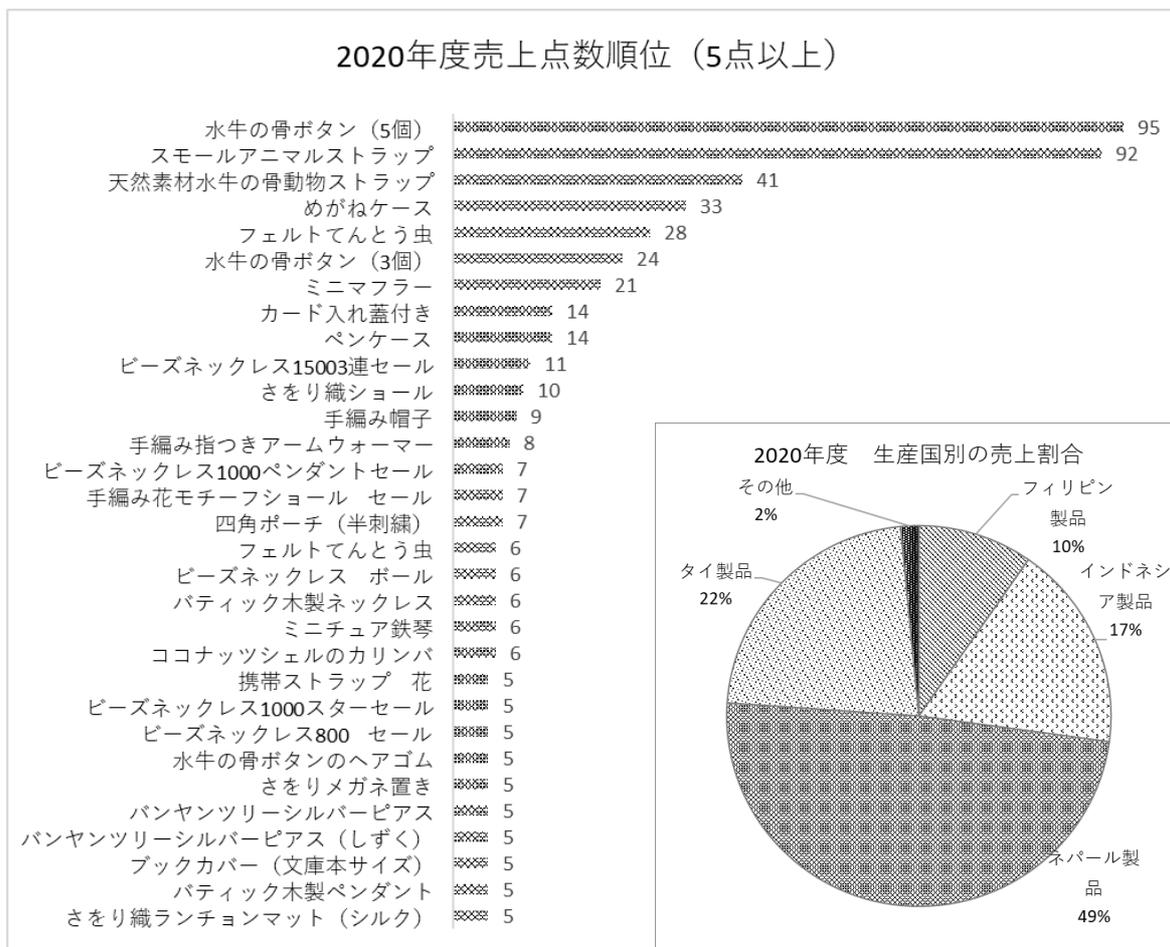
Sooooos. <https://soooooos.com/shop/awep/index>

minne <https://minne.com/@awep>

Sooooos. (<https://soooooos.com/shop/awep/index>) と BASE (<https://awep.thebase.in/>) の両サイトで実績があり、前者が8件 (合計 23,150 円)、後者が7件 (23,997 円) であった。昨年度は、それぞれ6件 (17,830 円)、4件 (10,827 円) であった。Sooooos. は件数、売上とも30%程度の増加、BASEも売上が50%以上増加した。元の数値が小さいので、割合ほど金額的には大きなインパクトとは言えないが、今後も消費がEC中心になっていくと見込まれるので、引き続き促進に務める。minneでは販売実績がなかった。本サイトはハンドメイドアイテムに特化しているが、AWEPは販売アイテムがネパールの水牛の骨ボタンのみであるため、販売促進が難しかった。売上のない状態が続けば、本サイトからは撤退を検討する。

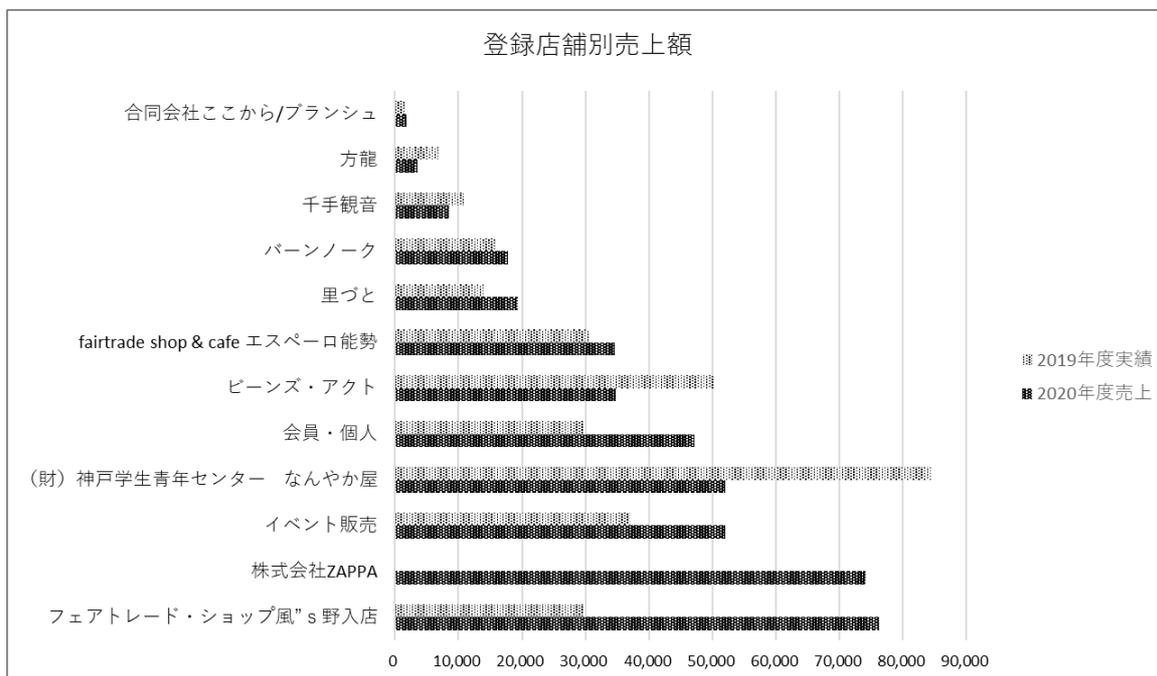
【製品別売り上げ個数】（参考数値）

2019年度の生産国別売上個数を比較すると、ネパールは354点、インドネシアが108点、タイが75点、フィリピンが45点であった。フィリピンの製品が少ない傾向は昨年と変わらない。



2020年度の特徴は、水牛の骨ボタン、水牛の骨ストラップ、フェルトてんとう虫、ミニマフラーなど、ネパールの製品の売り上げが多かったことである。値下げの影響でビーズ製品も全体的に売れ行きが伸びた。アピクリのスモールアニマルストラップはまとまった数での注文を受けたため、販売数が大きくなった。

取引店舗(団体)別では、愛知県のフェアトレード風“sと新規登録の姫路市のZAPPAが非常に大きな割合を占めた。特にZAPPAはハンドメイドを中心に地域に根差した事業づくりを展開されている。新しいパートナーとして期待したい店舗の一つである。また2019年度より増えたのが、エスペロ能勢、バーンノークだった。いずれの店舗ともさらに連携を深めて、フェアトレード事業を充実させていきたい。



【販売促進の工夫】

本年度から、縫製を専門とするボランティアを迎えられたおかげで、新しい方策を試みている。一つは、MKS ハンディクラフトとアピクリのアクセサリ製品の購入者向けに、ミニポーチを付録として作成した。もう一つはB級とした製品の補修である。補修することで製品を処分せずに販売でき、製品の処分を避けられた。



(2) 女性のエンパワメントに資する活動

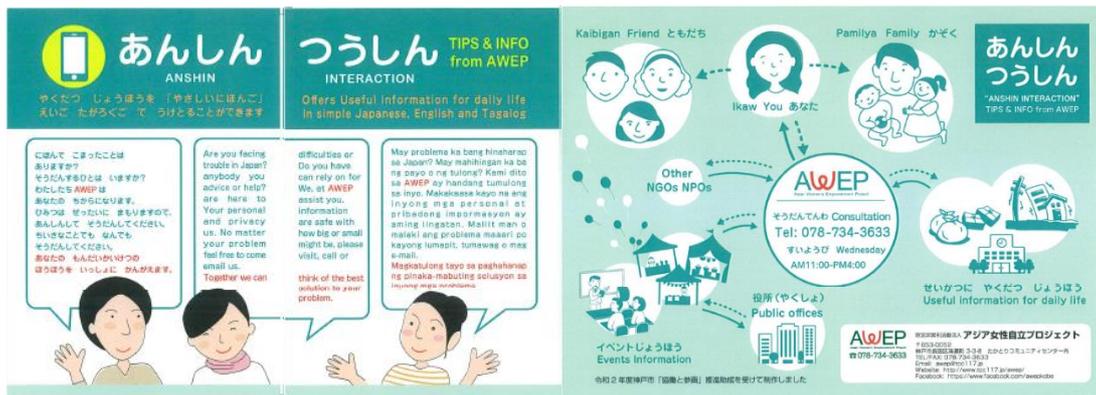
【スタディツアーの実施】

実施していない。コロナ禍の影響が続くことも鑑み、スタディツアーに代わる現地の生産者女性たちとの交流の方法も今後は検討したい。

2 国内事業

(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

神戸市「協働と参画」活動助成金を活用し、AWEP の相談活動および情報提供事業を紹介するためのパンフレットを作成した。相談窓口としての AWEP の認知度向上を図るため、各支援団体や当事者グループに配布、広報ツールとして活用していく。



①生活相談事業

原則毎週水曜日に電話、および来所による相談に 36 件対応した。複数の担当がインテークした場合も効果的に対応できるよう、相談シート等を通じて情報共有した。

基本的には情報提供および適切な専門機関への橋渡しをしているが、場合によっては NGO 神戸外国人救援ネットなど関係団体との連携、同行支援を行っている。今年度は 2 件の同行支援を行った。

コロナ禍の影響もあり、2020 年度は相談件数が増加した。(2019 年度は 22 件)

②情報提供事業

【あんしん通信】

ここ数年で、従来のメールでの情報発信に加え、インターネット配信、SNS を活用し発信媒体の多様化を図っている。

1) メール

「あんしん通信」は原則月 2 回、やさしい日本語と英語で発信を継続している。本年度は、NO.304 から NO.322 まで計 18 回発信した。登録受信者は合計 63 名。

取り上げるテーマの選択、やさしい日本語への変換、英訳など、ボランティアのメンバーと協議しながら原稿を作成している。

2) インターネット配信

2018年度からは「あんしん通信」を文字情報としてだけでなく、ネットラジオ（FM わいわいとの協力）を通じて、当事者の声を交え、音声情報で伝えてきた。

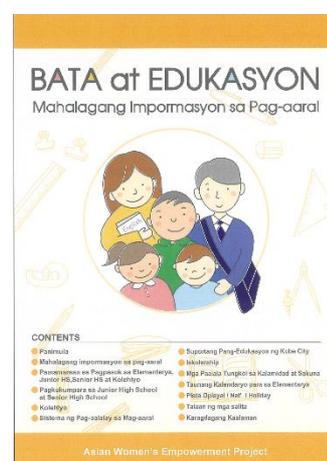
今年度の放送に登場した方々は、川口フォイさん、金丸グレーシーさん、バレリーさん、ジャスミンさん、野田ジーンさん、のべ17名の方々。

3) Facebook ページ「あんしんつうしん」への投稿

在住外国人の方々への情報発信に特化したページとして、やさしい日本語、英語、タガログ語での投稿、他団体や他のメディアによる有益な情報のシェアを行い、より迅速な情報提供に努めた。

【学校生活・教育に関するタガログ語ガイドブックの制作】

AWEP が制作した生活ガイドブック「外国人女性のための役だつインフォメーション」（2018年改訂版・やさしい日本語と英語）をもとに、日本の学校教育・就学手続き・教育援助・多文化共生サポーター制度・学校の年間行事等を、神戸市の事情に特化し、より具体的にわかりやすく説明したタガログ語冊子『BATA at EDUKASYON』を500部制作した。今後、他の支援団体や国際交流協会等を通じて配布する。



(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

①他団体との関係強化

【NGO 神戸外国人救援ネット】

運営委員として鋤柄理事（オブザーバーで奈良理事）が毎月第2月曜日の運営委員会に出席し、運営、事業に参画した。12月の相談会は同ネットと共同で開催した。

個別の支援活動で協力することが多いが、同ネットの活動が拡大している一方で事業実施体制がタイトになっているため、AWEP が事業でも共同できれば運営の効率化に協力できるのではないかと考える。

【ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）】

2020年度も鋤柄理事が HYVIS 代表を引き受けた。兵庫県内の被害者支援団体との定例会議（5回）のほか、神戸市、兵庫県の DV 被害者支援担当者との懇談を行った。（定

例会議以外の内容は下記の通り)

2020/11/7 オンライン公開講座「暴力から避難するときーハーグ条約とは?ー」

10/2、10/23、11/24 神戸市 DV 計画策定有識者会議

2021/1/23 神戸市配偶者等暴力 (DV) 対策基本計画 (第 4 次) パブリックコメント提出

2/16、3/11 オンライン公開講座「こころとからだの休日ーボディーワークでストレスマネジメント」開催

【移住者と連帯する全国ネットワーク】

コロナの影響により当初開催予定だった全国集会の開催が取りやめになった。10/6 女性プロジェクトチームのオンラインミーティングに奈良理事が参加した。ミャンマー市民への弾圧の問題、入管法の問題について、同ネットワークのアクションに賛同し、アドボカシー活動にもわずかではあるが関わった。

【関西 NGO 協議会】

本協議会がコーディネーションする龍谷大学の国際協力入門の講義や調査事業に協力した。

②勉強会、セミナーの実施

【外国にルーツを持つお母さんのための相談会】

昨年度より、AWEP は国内の外国人女性たちの支援事業の拡充を進めている。2020 年度は、神戸市「協働と参画」活動助成金を財源に、「外国にルーツを持つお母さんのための相談会」を 2 回開催した。

第 1 回 2020 年 11 月 14 日 (土) 場所: 須磨区文化センター

参加者: フィリピン出身の母親 3 名 (内 1 名は通訳担当)、日本人母親 2 名、相談担当 AWEP スタッフ/ボランティア 2 名
専門相談員: 梅田麻希さん (兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 広域ケア開発研究部門 国際看護)

オブザーバー参加: 神戸市担当者 2 名、神戸市教育委員会スクールソーシャルワーカー 1 名



第2回 2021年2月21日(日) 場所：須磨区文化センター

参加者：フィリピン出身の母親4名(内1名は通訳担当)、日本人母親2名、相談担当 AWEP スタッフ/ボランティア2名

専門相談員：梅田麻希さん(兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 広域ケア開発研究部門 国際看護)

オブザーバー参加：神戸市担当者2名、神戸市教育委員会スクールソーシャルワーカー1名



【外国人のための無料相談会(住まいの相談)】

三菱財団×中央共同募金会の「外国にルーツがある人々への支援活動応援成事業」として、住まいに関する無料相談会を開催。この相談会は、NGO 神戸外国人救援ネットと共催で実施した。

2020年12月20日(日) 場所：長田区文化センター別館ピフレ

専門相談員2名(弁護士、NGO相談員)

通訳者3名(ベトナム語、タガログ語、中国語)

相談件数：3件 相談者国籍：ベトナム、フィリピン、日本(フィリピンルーツ)

③講師派遣・視察訪問などの受け入れ

講師派遣 9件

2020/6/19 関西学院大学(グローバルイシュー)@オンライン

7/7,14 姫路市男女共同参画推進センター

7/20 椋山女学園大学@オンライン

10/8 兵庫県立長田商業高校

10/14 龍谷大学@オンライン

10/15 兵庫県立大学看護学部@オンライン

11/6 川西市男女共同参画センター

2021/1/6 京都外国語大学(Facilからの依頼)@オンライン

3/7 兵庫ユニセフ協会@オンライン

インターン受け入れ 1件

8/6 大手前大学看護学部(4名)

視察訪問 1件

④連携事業

2020年12月20日（日）外国人のための無料相談会（住まいの相談）をNGO神戸外国人救援ネットと共催で実施。（上記②の通り）

3 広報活動など

【AWEP 説明会】

2回開催し、計2名が参加、ボランティア登録された。

5/13（神戸大学大学院1名）、2021年3/10（京都大学大学院1名）

【ニュースレター】（デザイン・編集：井之上章子）

6月にVol. 52を500部、12月にVol. 53を500部、発行し、支援者や関係機関に送付したり、講演会などで配布したりした。製品購入者にもバックナンバーと一緒に送付した。発行したニュースレターをPDFにし、ウェブサイトに掲載している。

【ネット広報】

ウェブサイトの更新（お知らせ33回、製品情報4回など）の他、適宜Facebook、Twitter、Instagramで発信した。フェアトレード製品やイベント関連の情報の閲覧だけでなく、ウェブサイトを検索して関東など遠方から外国人女性が相談を寄せることも数回あった。

【ファンファンパーティー】

実施していない。コロナ禍で対面での集会に代わる集いを考えたい。

4 助成金の実績

助成金名	事業名	助成額	内容
公益信託 神戸まちづくり六 甲アイランド基金	在日外国人女性に向けた情報発信・相談活動とその促進事業	500,000円	相談事業、あんしん 通信事業
神戸市「協働と参 画」推進助成金	外国にルーツを持つ子/ 保護者の孤立防止事業	274,476円	相談事業、あんしん 通信事業

三菱財団・中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業（助成期間：2020年3月～2021年9月）	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための相談・情報発信事業	1,490,000円 （内、2020年度に990,000円支給）	相談事業、あんしん通信事業
--	--------------------------------	-------------------------------------	---------------

III 活動の実施体制

I 意思決定と実務

項目	内容
会議	① 通常総会 2020年5月23日（土） ② 理事会 2020年5月20日（書面表決）、9月16日（オンライン）、2021年2月24日（オンライン） ③ 事務局会議 原則毎月第1水曜日に開催
事務局の体制	<スタッフ>（敬称略） ① 事務局長（総務・財務）：鋤柄利佳 ② 全体統括・海外事業：奈良雅美 ③ 国内事業：鋤柄利佳、野田ジョーン <ボランティア>（五十音順、敬称略） 井之上章子、いなだ多恵子、岡内克江、鹿嶋節子、高月渚、チェイス洋子、スワティ・ミタル（Swati Mittal）、宮本由幾、福井胡実 * ボランティア活動時間合計：延べ約111時間（在宅活動含まず）
他団体との連携	<地域> （特活）たかとりコミュニティセンター（神戸市長田区）：同センター所属のメンバーとして連携し地域の活動に取り組む ・ 定例連絡会（毎月第1、3土開催） ・ 理事会への理事派遣（年4回開催）

	<p><女性支援・外国人支援></p> <p>1. 神戸外国人救援ネットの運営委員としての活動（鋤柄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議出席（毎月第2月曜日）。 <p>2. ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）の構成団体としての活動（鋤柄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（偶数月第4水曜日）。 <p>3. （特活）移住者と連帯する全国ネットワーク：正会員として参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性プロジェクトチームに参画（奈良） <p><国際協力></p> <p>（特活）関西 NGO 協議会（大阪市）：準会員として活動に協力</p> <p>兵庫・国際協力同志の会：メンバーとして参加</p>
--	--

II 運営に関わり・活動を支えるみなさん

運営会員 （21名）五十音順 敬称略	
青山由香 縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 岡内克江 太田和宏 笠 久恵 鹿嶋節子 神田慧太 木村寿子 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作 武田 丈 チェイス洋子 仲尾育哉 奈良雅美 西脇鈴代 藤川真澄 もりきかずみ 吉野太郎	
賛助会員 （53名、内5名匿名）五十音順 敬称略	
阿部三恵子 石山智子 市川栄見子 井原由紀子 占部 太 エスパーロ能勢 王貴美子 大森恵実 木村恵子 木村淳子 坂本陽子 梶月太郎 佐渡いづみ 嶋内良則 清水晴美 下村知子 白井廣美 杉戸ひろ子 鈴木雅子 鈴木迪子 高木澄子 高月 渚 太治和美 谷口幸子 特定非営利活動法人すまみらい 中川加代子 中嶋秀昭 中野由貴 中森俊久 南場美紀 西海ゆう子 野見山美香 長谷川美代子 服部尚美 ビーンズ・アクト 飛田雄一 日比野純一 平等文博 藤井智子 藤田ふみ子 松代東亜子 三谷順子 三好宣子 村上菜摘 モニカ ヘレン マカラエグ カヒログ 山田 恵 山本裕子 尹英順	
役員 五十音順 敬称略	
理事：太田和宏 香取千晴 定藤繁樹 鋤柄利佳 奈良雅美 監事：いなだ多恵子 仲尾育哉	

以上